

【53】川の長さ

山の高さというと、世界一はヒマラヤ山脈のエベレスト(8848m)で、日本一は富士山(3776m)ということは小学生の地理の知識ですが、川の長さというと途惑う人も多いと思います。

世界一の長流は、現在のところ、アフリカ大陸の中央部に発しビクトリア湖を經由しエジプトで地中海に注ぐ、長さ 6670 km のナイル川ということになっています。第 2 位がアマゾン川(6450 km)、第 3 位は長江(6380 km)、第 4 位ミシシッピ川(6210 km)で、長さ 6000 km 以上の大河はこの 4 本だけです。各大陸に分布しているところが不思議といえば不思議です。

川の長さは山の高さのように直接測量するのではなく、地図から間接的に測りますのでその精度は地図に依存します。戦前の小学校の教科書では、世界一の長流はミシシッピ川とされていましたが、河川改修で曲流が直線化され少しずつ短くなる一方、ナイル川、アマゾン川、長江の水源地域の探検が進み詳しい地図が作成されるにつれ、川の長さがどんどん長くなっていったのです。

わが国では、一番長い川は信濃川(367 km)で、意外にも利根川(322 km)は第 2 位で、第 3 位は石狩川(268 km)です。石狩川は今から約 100 年前の大正 14 年(1925 年)のデータでは 365 km もあって当時も第 1 位の信濃川の 369 km に引けを取らなかったのですが、その後の河川改修工事で蛇行している河道を直線化したため、100 km も短くなって第 3 位に転落してしまいました。